

鶺鴒の池

(うのいけ)



全景



堤体の様子

カワウの生息



ため池の概要

□ため池の所在地

愛知県知多郡美浜町

□ため池の特徴

鶺鴒の池は、江戸時代には既に築造されていたとされ、現在も72haの農地の水源となっています。また、カワウの繁殖地として昭和9年に国の天然記念物に指定され、1万羽のカワウが生息するほか、冬季にカモ、ハジロ等の多くの渡り鳥が飛来します。

天保年間に鶺鴒が棲みつくようになり、かつて長良川の鶺鴒飼いの鶺鴒は本池で捕獲したとされています(現在は禁止されています)。

池周辺の上野間地区では100年以上にわたって鶺鴒を保護し、鶺鴒の糞を肥料として収益を上げていました。また、池の水を抜いた人が池に棲む大蛇のたたりで死んだという伝説があり、それ以来水を抜くときは神酒を供える風習ができました。

また三河湾国定公園特別保護区に指定され、自然環境や生態系が保全されています。

鶺鴒の山とともに独特の景観を形成しており「美しい愛知づくり景観資源600選」に選定され、町では、ハイキングコースも設定しています。

関連情報

ジョイフルファーム鶺鴒の池ホームページ
美浜観光協会「自然」ホームページ
美しい愛知づくり景観資源600選

<http://joyful-f.jp/>

<http://www.mihama-s.or.jp/mihama-kanko/>

<http://www.pref.aichi.jp>

三好池

(みよしいけ)



全景



カヌー大会の様子

ため池の概要

□ため池の所在地

愛知県みよし市(旧西加茂郡三好町)

□ため池の特徴

三好池は、昭和34年に愛知用水事業により造られたため池で、211haの農地に用水を配り、水稻の他、特産の梨、柿、ぶどうの生産を支えています。

池は掌のような形をしており、入り江には湿地の植物が繁り鳥のさえずりが響き、岬では180度見渡すことのでき、変化に富んだ景観が楽しめます。

春の桜(約2000本)、初夏の紫陽花、秋の紅葉が名所となっており、「美しい愛知づくり景観資源600選」に選定されています。

堤体などを除き、築造時のままの土の岸辺や雑木林が残されており、マガモ、カイツブリ、ジョウビタキ等の渡り鳥を始めとする多様な生物を育んでいます。

池の周囲には「健康の道」があり多くの人々が散歩などで利用しており、また三好池まつりやカヌー大会、駅伝大会等も開催され、地域とのつながりも大切にされています。

関連情報

三好町ホームページ

<http://www.town.aichi-miyoshi.lg.jp/>

大井池

(おおいけ)



全景



池の中の浮御堂と雪景色

弁財天から
ため池を望む



ため池の概要

□ため池の所在地

愛知県額田郡幸田町

□ため池の特徴

大井池は、県下最大級の堤高をもち、水田やイチゴなどの農地203haに配水を行う大規模なため池です。

池には大井池弁財天が祀られており、また近辺には猿田彦神社、幸田神社があり1年を通じて多くの人々が訪れています。

大井池は桜や紅葉の名所となっており、池の中の浮御堂とともに「美しい愛知づくり景観資源600選」に選定されています。

毎年春には、桜祭りが開催され大井池弁財天に豊作祈願が行われており、築造50年の際、桜・紅葉などの記念樹の植栽が行われました。

また池周辺は、三河湾国定公園に指定されており自然豊かで、自然観察会などが行われています。

関連情報

幸田町ホームページ
美しい愛知づくり景観資源600選

<http://www.town.kota.lg.jp/>

<http://www.pref.aichi.jp>

北崎大池

(きたさきおおいけ)



全景



親水デッキを散策する人々と芝桜

ため池の概要

□ため池の所在地

愛知県大府市

□ため池の特徴

北崎大池は、江戸時代には「ほしな池、大池」の記録が残っている古いため池で、現在も93haの農地の貴重な水源であり、周辺は、ブドウの産地となっています。

また、知多半島の戦後農業を一変させた愛知用水の連絡ため池という重要な使命も果たしています。

周囲の芝桜が有名で市内外から多くの来訪があります。カモ等の渡り鳥やカワセミの飛来地として来訪者を楽しませています。

また、周囲を散策できる地域の憩いの場となっており、「北崎地域水と緑を守る保存会」が植栽等を行って景観形成に取り組んでいます。

関連情報

大府市ホームページ <http://www.city.obu.aichi.jp/>

奥池

(おくいけ)



全景



環境整備された池の周辺

ため池の
生き物調査の
様子



ため池の概要

□ため池の所在地

愛知県大府市

□ため池の特徴

奥池は、築造年代は不明ですが、300年以上前(江戸時代)からあったことが確認されており、現在も22haの農地の貴重な水源となっており、周辺はブドウ、キャベツの産地となっています。

「奥池地域保全隊」が中心となって池周りの景観保全、子供達と地域住民を巻き込んだ池の生き物調査等を行い、ホタルが生息できる環境になるよう地域ぐるみで活発に活動しています。

ため池の環境整備に併せて外来種の駆除が実施され、フナ、モエビ、カワムツ、タモロコ、ヨシノボリ、ヌマチチブ等の在来種が年々増加しています。

またカモ等の渡り鳥の飛来地にもなっています。また、

関連情報

大府市ホームページ <http://www.city.obu.aichi.jp/>

大洞池

(おおぼらいけ)



全景



池の横を通る自然歩道

ため池の概要

□ため池の所在地

愛知県犬山市

□ため池の特徴

大洞池は江戸時代に造られたため池で、生活排水の流入がなく、山中の自然の池沼のようなエメラルドグリーンの美しい水辺を持っています。

池の西側を江戸時代からの街道が通っており、また北側には東海自然歩道が整備され、自然に溶け込んだ景観が注目を集めています。

比較的在来の魚が多く、雑木林に囲まれた豊かな里山を形づくっています。またカモ、アマサギ、ツバメ、ヒクイナ、コアジサシといった渡り鳥の飛来地にもなっています。

関連情報

愛知県ホームページ

<http://www.pref.aichi.jp/>

下芳池

(しもよしいけ)



全景



堤体の様子



花かつみ

ため池の概要

□ため池の所在地

愛知県知多郡阿久比町

□ため池の特徴

下芳池は、江戸時代「よし池」の記録が残る歴史ある池で、「阿久比米(あぐいまい)」産地の貴重な水源であり、周辺は近年、秋に播いたレンゲを緑肥として利用する低農薬の特別栽培米「れんげちゃん」の主産地となっています。

池の北側に設置された「花かつみ園」では、「はなかつみ」と呼ばれる野生の花菖蒲が保護されています。

「はなつかみ」は室町時代に伯耆国(鳥取県)から本池に移植されたと伝えられ桶狭間合戦時には徳川家康の生母於大の方が家康の武運長久を願い、坂部城で「花かつみ」の「勝つ」という名前に思いを込め仏前に捧げたという伝説があります。

また隣接する企業により池の堤防全体にツツジが植えられており、開花時には美しい景観となっています。農業関係者や地域住民だけでなく、企業も一体となって良好な環境づくりに取り組んでいます。

関連情報

阿久比町ホームページ

<http://www.town.agui.lg.jp/ka/shakyo/hanakatumien/hanakatumien.html>

白鮎池

(しらはいけ)



全景



池に生育するスイレン

ため池の概要

□ため池の所在地

愛知県大府市

□ため池の特徴

白鮎池は、築造年代は不明ですが、江戸時代には既に「しらはえ池」という記録がある古い農業用ため池です。

池にはスイレンが咲き、周囲に桜があり、またカモ等の渡り鳥の飛来地となっており、多くの来訪者があります。

このため池は、農業用水源であるだけでなく、緊急水源施設が設置され、大規模災害時の消火用水や生活水の供給水源として地域の防災面での活用が位置づけられています。

関連情報

大府市ホームページ

<http://www.city.obu.aichi.jp/>

芦ヶ池

(あしがいけ)



全景



池の護岸の様子



隣接する農業公園の様子

ため池の概要

□ため池の所在地

愛知県田原市

□ため池の特徴

芦ヶ池は、豊川用水の調整池として造られた貯水量200万tの大規模なため池で、272haの農地に直接水を配るとともに、豊川用水と連絡し渥美半島の農地を潤す重要なため池となっています。

条里制の遺構から古代に国司により造られたと考えられており、江戸時代(承応年間)には、田原藩によって浚渫されたという記録も残されています。

現在、芦ヶ池を核に、田原農業公園(サンテパーク田原)が整備され、農業の紹介、体験、農産物の販売等が行われており、地域を代表する観光地となっているほか、地元の夏祭りの会場にもなっています。

また、池はカモ等の渡り鳥の飛来地にもなっています。

関連情報

豊川用水ホームページ
サンテパーク田原ホームページ

<http://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/>
<http://www.ecoline.ne.jp/SantePark/>

初立池

(はったちいけ)



全景



桜が咲き誇る池のほとり



池のほとりの菖蒲

ため池の概要

□ため池の所在地

愛知県田原市

□ため池の特徴

初立池は、昭和43年豊川用水事業によって造られた大規模なため池で、緑に囲まれた中、空と広い水面が作り出す様々な景色が見られます。

周辺部は遊歩道を含め初立池公園として整備されており、桜、菖蒲が咲く春から夏にかけて多くの来訪者があります。

豊川用水事業は、戦後復興の中で渥美半島を日本屈指の畑作農業地帯に一変させた大事業で、現在も初立池は1200haに及ぶ広大な畑作地帯を直接潤しています。

これらの地域は田原市の中でも屈指の畑作地帯であり、キャベツ、メロン、イチゴ等は全国に出荷する一大産地となっています。

この池の夕ぐれの壮大な風景は「美しい愛知づくり景観資源600選」に選定されています。

また「サシバの渡り」と言われるサシバの大群が飛来する伊良湖岬が近く、冬になると多くの渡り鳥が湖面やってくることから野鳥の観察ポイントとなっています。

関連情報

田原市ホームページ

<http://www.city.tahara.aichi.jp/>

豊川用水ホームページ

<http://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/>

美しい愛知づくり景観資源600選

<http://www.pref.aichi.jp>

神戸大池

(かんべおおいけ)



全景



池内のハスの生育

ため池の概要

□ため池の所在地

愛知県田原市

□ため池の特徴

神戸大池は、水稻とキャベツを中心とする農地26haの貴重な水源であり、同時に豊川用水ともつながっており渥美半島全体のかんがいに貢献しています。

池はカモ等の渡り鳥の飛来地であり、またハスが植えられ、花が咲く時期には遠方からの来訪者も見られます。

池には遊歩道、水上デッキ等が整備されており、近接する小学校の学習の場としても利用されています。

関連情報

愛知県ホームページ

<http://www.pref.aichi.jp/>